

## 第2回 十和村史続編編集委員会 議事録

1. 日時 令和5年12月19日(火) 10:00-11:30

2. 場所 十和地域振興局2階第1会議室

3. 出席者 委員長 岡本 順一  
副委員長 芝 瑞穂  
委員 富田 努  
委員 山本 美知代  
委員 酒井 寿哉  
委員 仲 治幸

事務局(十和地域振興局町民生活課)

課長 畦地 永生  
副課長 林 誠

受託業者(株式会社ぎょうせい)

藤山 氏  
北井 氏  
宮内 氏

欠席者 なし

### 4. 議事

事務局 : それでは定刻になりましたので、ただいまより第2回十和村史続編編集委員会を開催いたします。開催にあたりまして、まず岡本委員長よりご挨拶申し上げます。

(岡本委員長より挨拶)

事務局 : ありがとうございます。それでは会議を進めていくにあたりまして、資料の確認をしたいと思います。

(事務局より資料の確認)

岡本委員長 : それでは今日の議題は、目次案および年表の確認ということになっております。事務局からの説明をお願いいたします。

(事務局より資料に基づき説明)

事務局 : ぎょうせいさんより何か補足がありましたらご説明をお願いします。

(ぎょうせい北井氏より資料に基づき説明)

岡本委員長 : 以上、事務局からの説明がありました。何か質問等ありましたらお願いします。

- 山本委員 : 2ページの地域の祭りイベントのところ、広井まつりが広井つまりになっている。それと、十和村は過去に椎茸の生産量が全国1位になったことがある。その中で産業のページの主な農産物を、主な農林産物にすれば椎茸のことも載せられるのではないか。
- 岡本委員長 : 農林産物には栗もあるのでは。栗も以前は100tぐらいあったが、今は30tぐらいまで減っている。今再生に向けた取り組みもされているが、昔から栗の歴史はある。
- 富田委員 : 環境3ページで、四万十川方式に関する記載がないのでは。おそらくここに記載されている合併処理浄化槽設置事業は個人宅を対象としたもので、四万十川方式は十和村の公共施設を含む集合排水処理の方式。
- 藤山氏 : また四万十川方式の資料をいただきたいです。
- 富田委員 : 観光施設になるのかわからないが、こいのぼり公園の記載がない。また観光スポットで、三島キャンプ場とライダーズイン四万十がない。ライダーズは平成6～8年の間に出来ている。
- 北井氏 : こいのぼり公園については、第2章第4節の公園のところに記載していますが、観光の方がいいですか？
- 富田委員 : 公園で大丈夫です。あと、井崎農村公園の記載がないのでこれに追加をお願いします。
- 北井氏 : きちんとその資料があるか確認した上でここに載せてるわけでもないのに、実際に書いていく中でこれは資料がないから書けないということもあるかもしれませんが、逆に資料を読み込んでいく中で、このまま付け加えたらいいかなっていうのも出てくる可能性はありますので、あくまでも目安ということで考えておいていただければと思います。また、今日でなくてもいいのでこれも入れた方がいいとかあれば、随時追加で情報をいただきたいです。
- 仲委員 : 1ページの第1編のタイトルに年号を入れてもらえればより分かりやすいと思います。
- 富田委員 : これには議決を得た計画だけ載せているのか。
- 藤山氏 : 個別の分野別の計画についてはここには入れてないです。例えば、子育て支援とか高齢者福祉とか、そういう個別の分野別の計画については、それぞれの分野のところと触れるという感じになると思います。
- 芝副委員長 : 四万十川方式については、排水処理のところよりは、四万十川の保全のところがいいのでは。
- 富田委員 : 調べてみると、四万十川方式は主に木炭や石などの自然素材を利用したろ材を組み合わせ、酸化・分解・吸着等の本来自然が持っている物質循環の自然浄化作用が効率よく働くようにした浄化方式となっている。
- 北井氏 : とりあえず、四万十川方式については四万十川の保全の方に入れるようにしまし

ようか。実際に文章を書いてみて、原稿段階であれば変更は問題ないので、また原稿ができた段階でご検討いただければと思います。

富田委員 : 6 ページのスポーツ大会に四万十川ウルトラマラソンがないが、観光イベントのほうになるか。

岡本委員長 : どちらかといえば観光イベントが近いのでは。その他に、資料①に関してありましたら随時お願いします。

北井氏 : 主にこの情報は広報等から拾ったと思うので、広報等に載っていないその地域で主体的に行われている活動で載せた方がいいものがありましたら、またおっしゃっていただければと思います。

芝副委員長 : 5 ページの保健の 1. 健康づくりに、健康づくり婦人会があるので、それに関連して、交通安全のところ交通安全母の会、防災関連のところ日赤奉仕団を入れていただきたい。

富田委員 : 例えば、道の駅ができたのは合併後だが、それまでの構想や議論は合併前にあるので、そういった動きをどこまで入れていけばいいのか。

北井氏 : 書き方として、完全に合併までの事柄とするのか、または、この事業は現在こうなってますいう風にした方がいいのか、そこは今後検討する余地はあります。

岡本委員長 : 歴史の中で見るとしたら、やっぱりそのものを作るために紆余曲折があった部分っていうのが一番みんなの心に残るのではという風に思います。事業途中のものであっても、合併後の何年頃完成しましたとか最後に入れてみてはどうか。

北井氏 : その辺については、個別に判断しながらフォローしていきましょうか。また原稿段階でご検討いただいて、変更もかまいませんので。

岡本委員長 : それでは資料 2 の説明をお願いします。

(事務局より資料に基づき説明)

北井氏 : 現段階では、十和村の出来事が少なく日本や世界の出来事の方が多くなっている状況なので、ここからは十和の出来事をより多く埋めていただきたいです。またどうしても少ない年は写真等を入れるやり方もあります。

岡本委員長 : 説明をいただきました。このことについて合わせてまたご検討、ご意見をお願いします。

山本委員 : 5 ページの 1997 年の出来事で、1 月 22 日に村長選挙で安岡宏高さんが再選となっていて、またその年の 9 月に村長選挙で酒井節夫さんが当選となっている。これは安岡さんが辞めたことだと思うがどうしてそうなったのか。

仲委員 : これはゆとりの森の不信任だと思う。

富田委員 : その間に議員選挙を行っているので、新しい議員から不信任が提出されて失職

したか。

山本委員 : そういった事まで書かないとこれに至った経緯がわからないと思う。

北井氏 : 不信任決議も入れた方が流れがわかりやすいですね。

岡本委員長 : それは年表に入れるのか本文のところにいいのか。

仲委員 : 年表で細かく触れるより本文でいいのでは。

富田委員 : 年表で村長選挙を入れているので、そこがないとやっぱりおかしい。年表にも入れた方がいい。

北井氏 : ご検討いただきたいのが、本文は縦組みですが年表も縦組みにするのか、もしくは横組みにするのか。年月日など数字がたくさん出てくるところは和数字より算用数字の方が見やすいので、年表だけは横組みにするというやり方もある。どちらにするかまたご検討ください。

藤山氏 : 横幅のことも考えると、縦組みの方がいいのでは。

仲委員 : 出来上がりのサイズは？

藤山氏 : A5 版になります。

仲委員 : かなり文字が小さくなるのでは？

藤山氏 : 通常は9ポイント。図表に関しては、入りきらないので1ポイント下げて書くことも考えられます。

仲委員 : 年表は7ポイント位になるか。

藤山氏 : 7ポイントでは小さすぎるので、長いところは1行を2行にするなどしていきます。

岡本委員長 : 今まで色々見てきたが、縦書きの年表の方が多い気がする。

藤山氏 : 今までの村史は日本語表記なので縦書きが多い。

岡本委員長 : 年表の縦書き版と横書き版の2種類の見本を用意してほしい。

藤山氏 : わかりました。次回の会でお見せするようにします。

山本委員 : 2ページの文化祭開催を、十和文化祭開催にしてください。

富田委員 : この年表は広報から抜き出してきたのか。

北井氏 : 広報と閉村記念誌から抜き出しています。

富田委員 : 閉村記念誌も広報からと思われる。また三島で水難事故と書かれているが、こう

いったことも書いていくのか。建設開始やイベント等が始まったことは書かれているが、途中で止めたようなことは書かれていない。

北井氏 : 昭和 62 年に昭和中学校ソフトボール部が優勝って書いてありますが、こういうスポーツの入賞とか優勝は、どこまで書けばいいのかっていうのはあるかもしれない。

岡本委員長 : せめて四国大会や全国大会であればいいのでは。

仲委員 : 平成7年にこいのぼり公園整備とあるが、この落成に合わせてこいのぼりの川渡しも現在の場所に移っている。全国的にも有名なこいのぼりの川渡しなので、そのこともここに書いてはどうか。また平成 9 年にはアメリカのナイアガラでこいのぼりの川渡しを行ったので、そのこともお願いします。

仲委員 : 平成 13 年の 2001 年望年祭イン十和とは。

富田委員 : 確か 21 世紀の幕開けということで、花火を上げたりそういったイベントを行ったと思う。

岡本委員長 : では 20 世紀望年祭とかに表記すればもう少しわかりやすくなるかも。

富田委員 : 1995 年前後だったと思うが、北幡 3 町村で四万十ドラマという第3セクターを作ったという歴史がある。また、議会だよりを見ていただければ、議決内容やそれに関する質問等が載っているので参考になると思う。

仲委員 : 平成 11 年に第4次十和村総合振興計画「十和に生きる」議決とあるが、正式名称は「十和ものさし」ではなかったか？

富田委員 : 昭和 63 年に十和村振興計画基本構想を議決とあるが、おそらくこの時が「十和ものさし」だったはず。スペースがあれば、「十和ものさし」の表紙の写真を入れてもいいと思う。

岡本委員長 : 年表については、ある程度記事が出そろったタイミングで、ボリュームを持たせる記事や深掘りしていく出来事を選んでいきたいと思います。

北井氏 : 次回の会までに、重点事項として詳しく書いてほしい出来事を選んでいただければスムーズに執筆ができると思います。

藤山氏 : この委員会とは別に、委員さん独自で集まっていたいで内容の協議をしていただく。それを事務局が集約して次回の委員会で話し合ってください。というやり方もいいと思います。

岡本委員長 : では年明け1月か2月に委員さんだけで集まって、内容についてももう少し吟味していきたいと思います。

仲委員 : 昭和 62 年に三島で水難事故とあるが、ここまで載せなくてもいいのではないかと。

岡本委員長 : 仮に事故の後、対策としてこういった取り組みをしたとかあれば載せてもいいと思

うが、単に事故だけであればなかなか載せにくいのかもかもしれない。そういったことも含めて次回に向けて協議していきたい。

仲委員 : 資料1の目次からの中身について、どういう書き方になるのか見せてほしい。

北井氏 : 原稿見本を何ページか作って、次回の会で確認してもらうよう準備します。

岡本委員長 : 他にないようでしたら、本日は終了したいと思います。事務局より追加説明等ありましたらお願いします。

事務局 : 先ほど言われました委員のみを会を設けたいと思いますのでよろしくお願いします。

岡本委員長 : その会については一つ一つ確認していくので、半日以上とか少し時間がかかると思います。ぎょうせいさんの方で何かありますか。

藤山氏 : 次回の委員会の時に、年表の縦書き・横書きの見本。そして原稿見本を作成してご提示したいと思います。

岡本委員長 : 委員さんのみの会の内容はどのようにすればいいですか。

北井氏 : 事務局の方でまとめていただいて、最終的なものを出していただければ結構です。

仲委員 : あるかないかわからないが、昭和58年以前から継続しているもので、58年以降に完成や議決したものがあれば、今回載せた方がいいのではないかな。

北井氏 : できるだけ読んでみて流れがわかることが大事ですので、すでに十和村史に書かれていることでも、繋がりが流れを考えて今回もう一度載せたほうがいいものがあるれば載せることもできますので、そこは柔軟に対応したいと思います。

岡本委員長 : それでは本日はこれでよろしいでしょうか。では最後に芝副委員長、挨拶をお願いします。

(芝副委員長より挨拶)

11:30 終了